

 日本システムバンク株式会社

決算説明会

2025年6月期

2025年8月28日



証券コード
5530

目次

- 01 - 会社紹介
- 02 - 2025年6月期 決算報告
- 03 - 2026年6月期-2028年6月期 中期経営計画
- 04 - 2026年6月期 業績及び配当予想

01

会社紹介

会社概要

会社名	日本システムバンク株式会社
設立	1996年7月10日
資本金	5億8,551万円（2025年6月末時点）
売上高	78億7,689万円（2025年6月期）
従業員数	236名（2025年6月末時点）
事業内容	コインパーキング事業 プロパティマネジメント事業
本社所在地	福井県福井市中央3-5-21 東京都渋谷区渋谷1-7-5
支店所在地	市川市、町田市、さいたま市、横浜市、長野市、富山市、 金沢市、福井市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、 広島市、福岡市
グループ会社	ノルテパーク株式会社(札幌市) システムパーク株式会社(仙台市) イーアド株式会社(福井市)

安全

First Choice

選ばれる駐車場

安心

快適

安全・安心・快適な駐車場づくりを推進し、
より多くのお客様にとっての
「First Choice」を目指す。

事業概要

コインパーキング(CP)事業とプロパティマネジメント(PM)事業の2セグメント体制。主力のCP事業では、自らCPを経営する「CP運営ビジネス」と、CPシステムの構築・保守を行う「CPシステム販売保守ビジネス」を展開

コインパーキング事業

CP運営ビジネス



- 土地を借り上げ、直営駐車場として運営

CPシステム販売保守ビジネス



- ニーズに応じた機器の選定・造成工事
- システム保守・コールセンターサービスの提供

プロパティマネジメント事業



- テナントビル賃貸ビジネス

連結売上高※ 構成

98.3%

1.7%

管理駐車場
構成

件数※

18.7%(1,310件)

81.3%(5,714件)

車室数※

15.8%(23,594車室)

84.2%(125,406車室)

※ 2025年6月期実績。決算短信における報告セグメントに含まれてない事業を除く

02

2025年6月期 決算報告

決算ハイライト(連結)

売上高

78.7億円

増減率 +3.4%

営業利益

4.2億円

増減率 Δ 22.5%

親会社株主に帰属する 当期純利益

2.4億円

増減率 Δ 15.0%

外部環境

- ・ 物価高で個人消費は停滞するも、緩やかな経済の回復は継続し、外国人観光客の増加もあって人流は増加
- ・ 企業利益は高水準を維持するも、人手不足が深刻化し、省力化投資や人材確保のための賃上げが継続

各事業への影響

CP運営

経済の緩やかな回復が消費者および事業者の外出機会を増やし、コインパーキングの稼働は堅調に推移

CPシステム 販売保守

コインパーキングの好調な稼働を背景に、駐車場運営事業者は新規開設に対する積極姿勢を維持。既存コインパーキングの設備の改修や更新に前向きな姿勢も継続

PM

不動産売買市場が活況であり、当社グループが所有する物件の購入希望者が増加。一部で売却を実施した影響から、売上高は低下

連結経営成績

前年同期比で増収減益となるも、売上・利益ともに計画は上回る

(百万円)

	2024年6月期	2025年6月期		増減率 (増減額)	2025年6月期 計画※1	計画比
		実績	売上比			
売上高	7,616	7,876	—	+3.4% (+260)	7,587	+103.8%
営業利益	549	426	5.4%	△22.5% (△123)	386	+110.2%
経常利益	538	416	5.3%	△22.7% (△122)	373	+111.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	292	247	3.1%	△15.6% (△45)	222	+110.9%
1株当たり当期純利益※2	128.06円	107.89円	—	(△20.17円)	97.29円	+10.62円
自己資本利益率(ROE)	13.5%	10.4%	—	△3.4pt	-	-

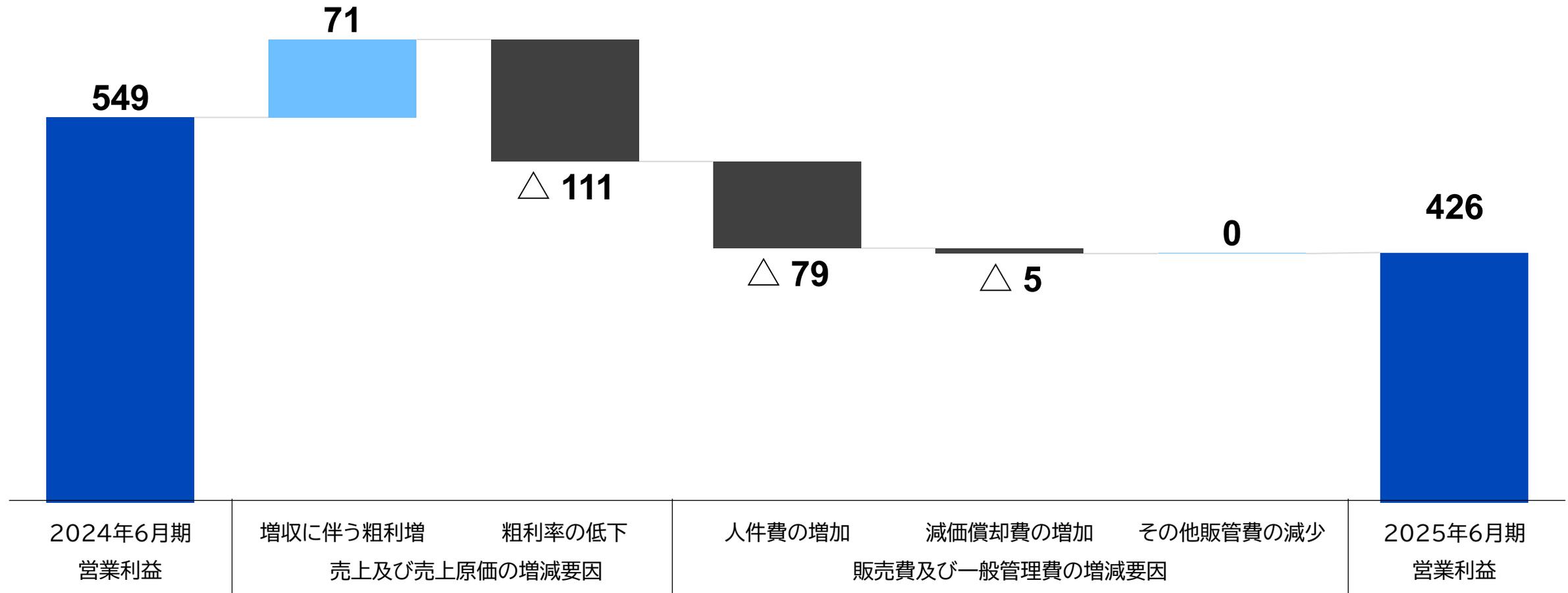
※1 2024年8月9日公表値

※2 2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、1株当たり当期純利益の表示は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定した数値です

連結営業利益 増減分析

キャッシュレス決済端末の設置に伴うサービス使用料や、賃上げによる人件費などの経費の増加がコインパーキング事業における増収効果を上回ったことで減益

(百万円)



連結貸借対照表

中長期的な成長に向けてコインパーキング機器および事業用地の取得を行った一方、賃貸ビルの売却を行い固定資産は減少。自己資本比率とDEレシオの改善により、財務体質が健全化

(百万円)

	2024年 6月期	2025年 6月期	増減額
流動資産	2,237	2,383	+145
現預金	1,395	1,527	+132
売掛金・ 前払費用	725	751	+26
棚卸資産	100	85	△14
固定資産	4,747	4,728	△18
有形固定資産	4,344	4,298	△45
機械装置及び運搬具	430	541	+110
土地	3,008	2,851	△156
無形固定資産	69	102	+33
投資その他の資産	333	327	△6
資産合計	6,984	7,111	+126

	2024年 6月期	2025年 6月期	増減額
流動負債	1,959	1,920	△39
買掛金・未払費用	626	557	△69
未払金	112	61	△50
未払法人税等	123	77	△45
長期借入金 (1年以内返済)	496	625	+128
賞与引当金	85	114	+28
固定負債	2,744	2,736	△8
長期借入金	2,096	2,063	△32
純資産	2,280	2,455	+174
利益剰余金	1,033	1,207	+173
負債・純資産合計	6,984	7,111	+126
自己資本比率	32.7%	34.5%	+1.9pt
有利子負債	2,622	2,694	+71
DEレシオ	1.15倍	1.10倍	△0.05倍

連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローの獲得は減少も、中長期的な事業成長に向け積極的な投資を実施

(百万円)

	2024年6月期	2025年6月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	788	590	△197
税金等調整前当期純利益	471	398	
減価償却費	370	433	
減損損失	73	0	
売上債権の増減額(△は増加)	△107	△11	
仕入債務の増減額(△は減少)	74	△54	
未払消費税等の増減額(△は減少)	64	△36	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△356	△515	△159
定期預金の預入による支出	-	△60	
投資有価証券の売却による収入	62	6	
有形固定資産の取得による支出	△385	△618	
有形固定資産の売却による収入	0	238	
無形固定資産の取得による支出	△21	△62	
フリー・キャッシュ・フロー	431	134	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465	△2	+462
長期借入れによる収入	400	700	
長期借入の返済による支出	△749	△604	
配当金の支払額	△72	△73	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△33	72	
現金及び現金同等物の残高	1,395	1,467	

CP用地を取得
(土地の増加)

CP機器を取得
(機械装置の増加)

賃貸用不動産の売却

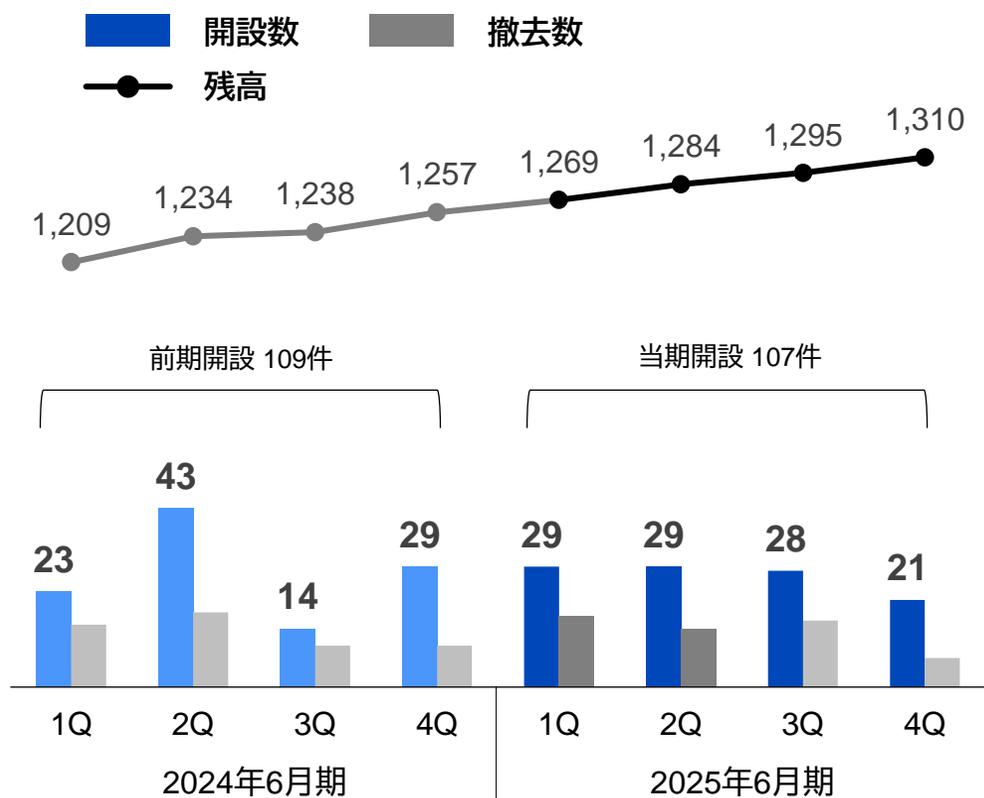
**コールセンター入電管理
システムの刷新**
(ソフトウェアの増加)

駐車場・駐輪場の開設状況等

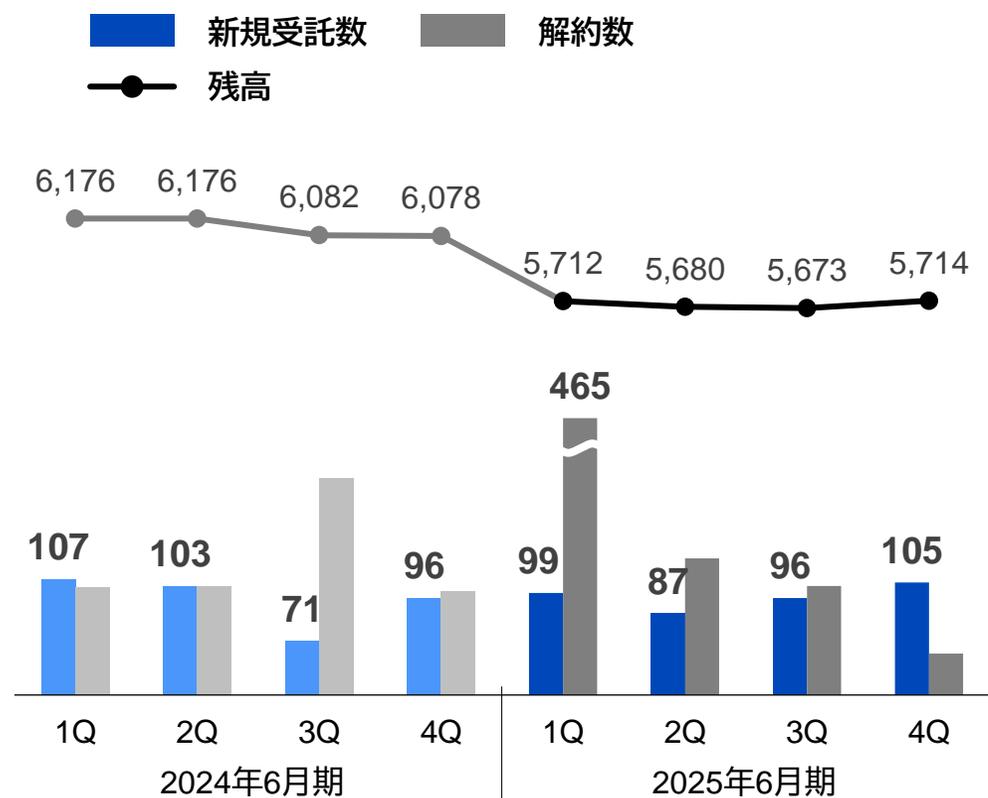
直営駐車場・駐輪場の残高は、北海道・東北・北陸を中心に開設が進んで増加。

管理受託駐車場・駐輪場の残高は、埼玉県や大阪府などで上積みはあったものの、大口顧客の解約の影響で全体としては減少

直営駐車場・駐輪場の開設数・撤去数および残高



管理受託駐車場・駐輪場の新規受託数・解約数および残高



03

2026年6月期-2028年6月期 中期経営計画

取り巻く環境と目指す姿

事業環境の変化を捉えつつ、企業理念と「選ばれる駐車場づくり」を更に追及した経営を目指す

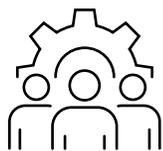
社会課題(外部環境)

- 地球環境保全・災害対策
- 行動様式の変化
- CASE
- 地方創生
- 少子高齢化・人手不足



経営課題(内部環境)

- 社会価値の追求
- 品質の維持・向上
- 新サービス開発
- 人材育成
- コーポレートガバナンス



“

企業理念

喜びの種をまこう 幸せの種をまこう

”

中期経営計画

安心・安全・快適な駐車場づくりを推進し、
より多くのお客様にとっての
「First Choice」を目指す。

安心

First Choice
選ばれる駐車場

安全

快適

定量目標

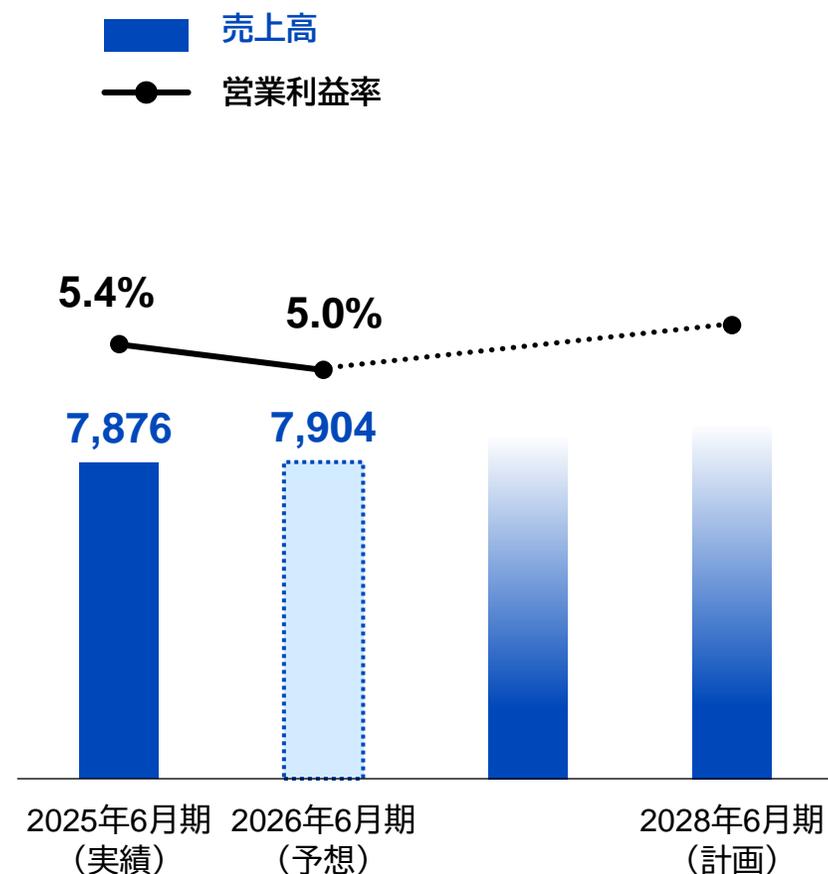
中計期間中の営業利益率は5%以上を目標に設定。

ROE、ROAは一時的に低下する予想も最終年度に向けては段階的に改善を図り、より効率的で筋肉質な体制を目指す

(百万円)

	2025年6月期 実績	2026年6月期 目標	前期比 (増減額)
売上高	7,876	7,904	+0.4% (+27)
売上総利益	2,067	2,072	+0.2% (+4)
同利益率	26.2%	26.2%	△0pt
営業利益	426	396	△7.0% (△29)
同利益率	5.4%	5.0%	△0.4pt
ROE 自己資本当期純利益率	10.4%	9.0%	△1.4pt
ROA 総資産経常利益率	5.9%	5.1%	△0.8pt

最終年度目標イメージ



基本方針

コインパーキング事業の持続的成長に向けた、強みを活かした直営駐車場の展開と駐車場運営事業者サポート体制の強化
環境変化に柔軟に対応し、堅実な内部統制と先進的な事業運営の両立

事業戦略

- 01 -

CP事業の拡大

- 直営駐車場及び管理受託駐車場を軸とするストックビジネスの強化
- 顧客ニーズをとらえた機器・システム等の最適化と新サービスの開発
- 土地オーナー向け機器販売の強化

- 02 -

サービス品質の向上

- 自社運営コールセンターと全国保守ネットワークを活用した運営サポートの強化
- メンテナンススタッフの資格取得推進による保守点検作業の品質向上
- カメラを起点とした管理品質向上(防犯・不正防止・故障発見等)

経営基盤強化

- 03 -

コーポレートガバナンス の強化

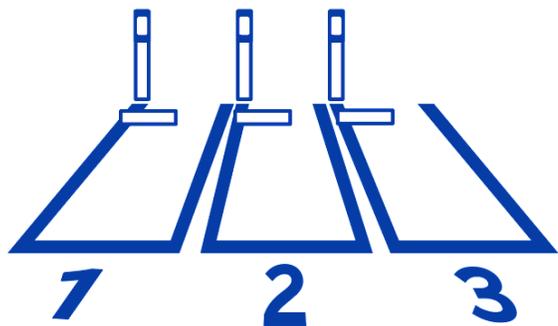
- 社外役員の多様性・専門性を活かした意思決定の高度化
- 証憑類のペーパーレス・データ化に向けたシステム整備・最適化
- DXを見据えたITによるリスクマネジメント

「3つの“Less”」で選ばれる駐車場づくりを推進

事業戦略においては引き続き「3つの“Less”」を推進。
お客様に選ばれる安全・安心・快適な駐車場のさらなる普及を図る

FlapLess

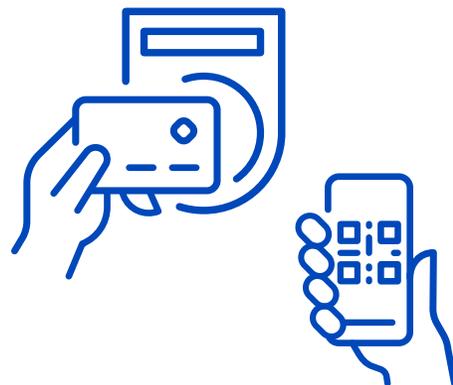
フラップレス



駐車スペースが広くフラットで
駐車、乗降車のときに安全

CashLess

キャッシュレス



硬貨つまりなどが起こらず
利用者に安心感を提供

StressLess

ストレスレス



高品質な保守と電話対応で
快適な利用をサポート

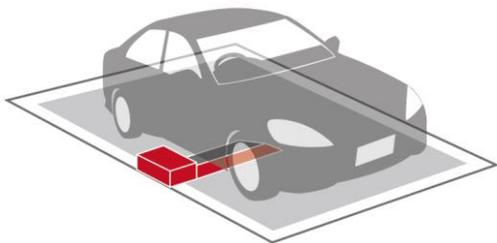
主力事業の拡大 – フラップレスの推進

広スペースで自然災害に強く、利用者に安全性と安心感を提供するフラップレス式駐車場を推進。
直営駐車場を中心に積極的に導入を進めたことで、直営駐車場全体の約4分の1がフラップレス式駐車場化

FlapLess

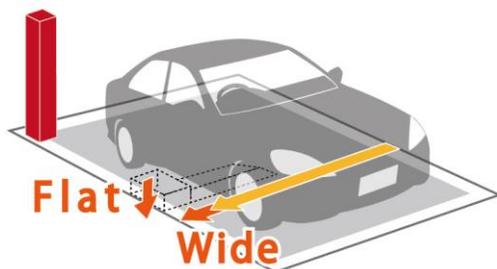
フラップレス

フラップ式駐車場
(普及率:高)



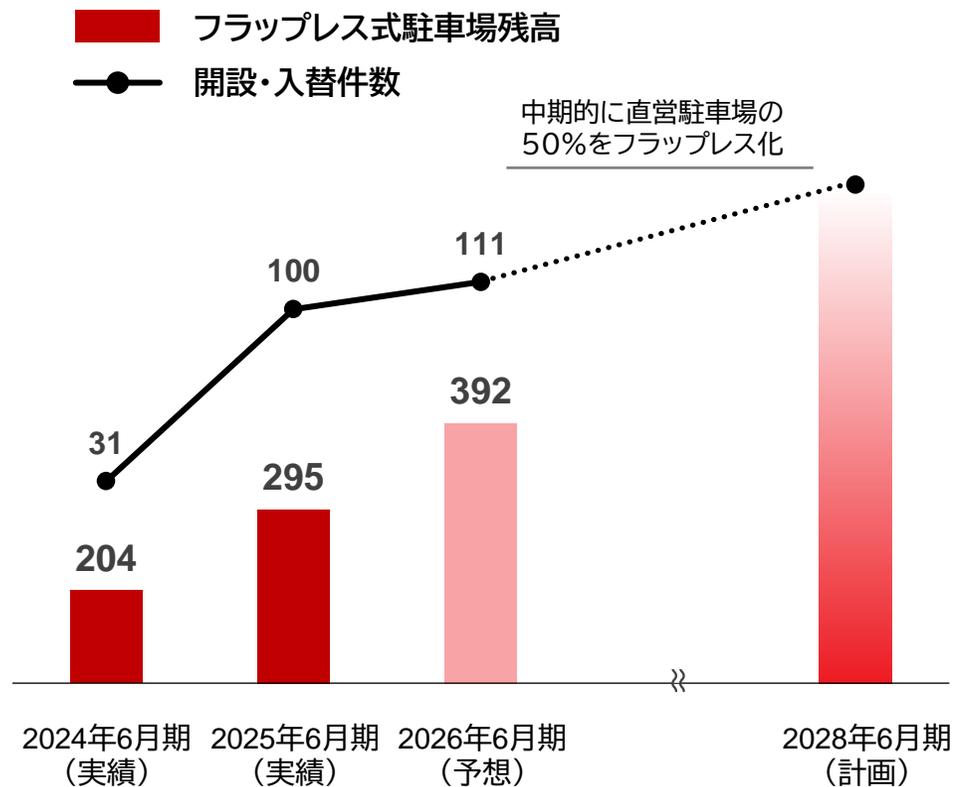
- フラップの幅分だけ駐車スペースが狭い
- 機器故障時は出庫できないケースがあるためクレーム化しやすい

フラップレス式駐車場
(普及率:低)



- 広スペースで駐車・乗降車が容易
- 降雪や冠水等の自然災害に強い
- 機器故障時には出庫を優先することもできる

直営駐車場におけるフラップレス式駐車場の推移



主力事業の拡大 - キャッシュレスの推進①

駐車料金のキャッシュレス決済システムの導入を推進し、利便性の向上とともに決済時のトラブルを削減し、安心感を提供。
直営駐車場・駐輪場におけるキャッシュレス決済率は、底上げは進み19%に到達

CashLess

キャッシュレス

現金精算の場合



- 硬貨つまり、識別不良などが起きることがありクレーム化しやすい



キャッシュレス決済の場合

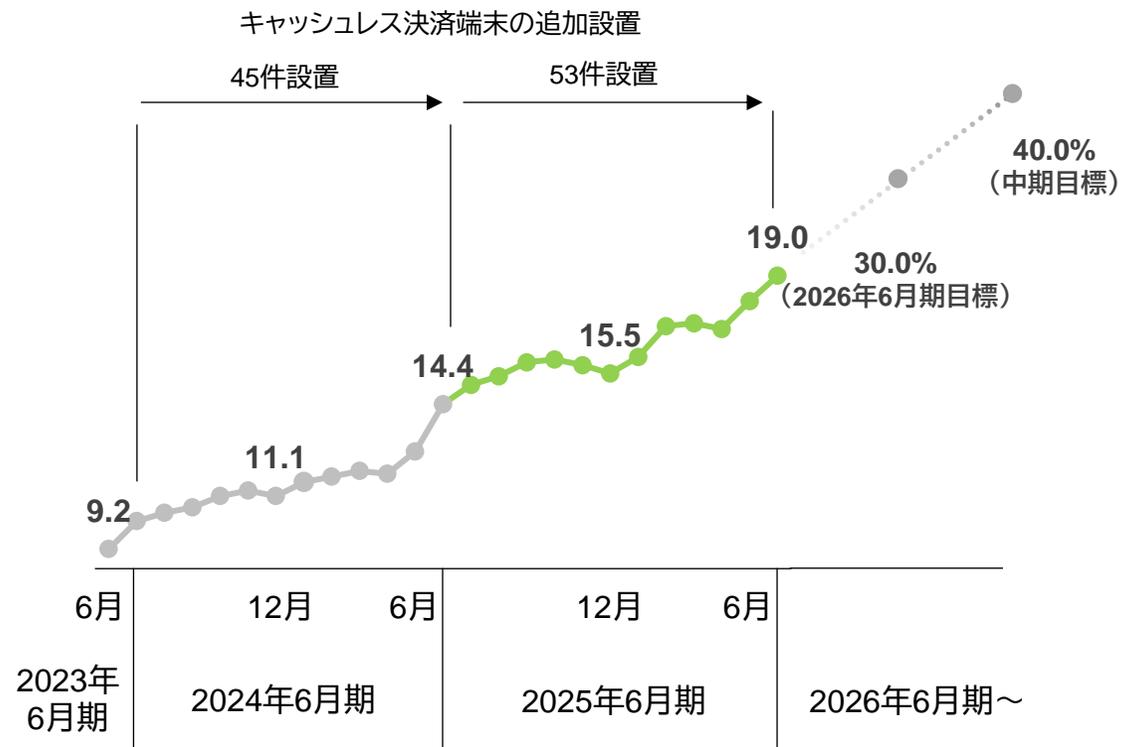


- キャッシュレス化によってトラブルの発生を削減

■ キャッシュレス決済率の推移※

※ 直営駐車場・駐輪場の売上高に占めるキャッシュレス決済額の割合

●— キャッシュレス決済率

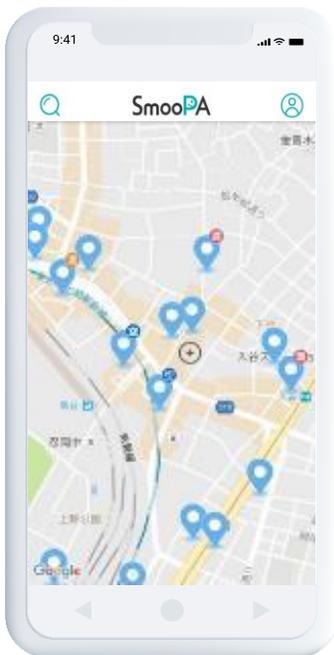


主力事業の拡大 - キャッシュレスの推進②

駐車場検索・決済アプリ「SmooPA」は決済件数が順調に増加する一方、アクティブユーザー数の伸びはやや低調となり、月間の決済件数は12.6万件とほぼ計画通り、アクティブユーザー数は目標12万人に対し8.9万人と未達

CashLess

キャッシュレス

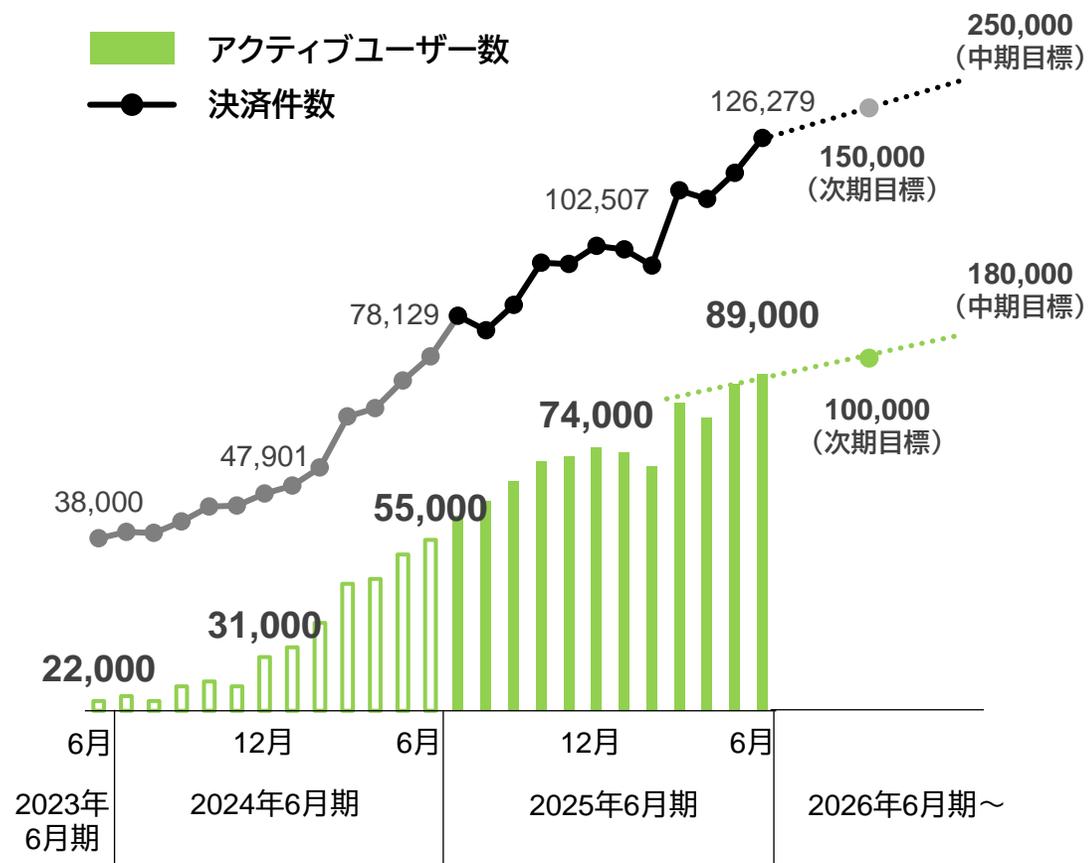


駐車場検索&決済アプリ
SmooPA(スムーパ)

SmooPA

- 空いている駐車場を一発検索
- アプリ上でキャッシュレス決済
- 法人一括請求サービスを利用すれば経費精算の手間も削減

SmooPAのアクティブユーザー数および決済件数



サービス品質の向上 – ストレスレス駐車場の実現

利用者・オーナーの双方にとってストレスのない安全・安心・快適な駐車場の運営に向け、社員教育を強化。日常の保守点検を担うメンテナンススタッフにおいて、新たに3名が第二種電気工事士資格を取得

StressLess

ストレスレス

有資格者による
定期点検・早期復旧



- メンテナンススタッフの資格取得を推進し、保守点検作業の品質を高め故障を未然に防止

連携強化

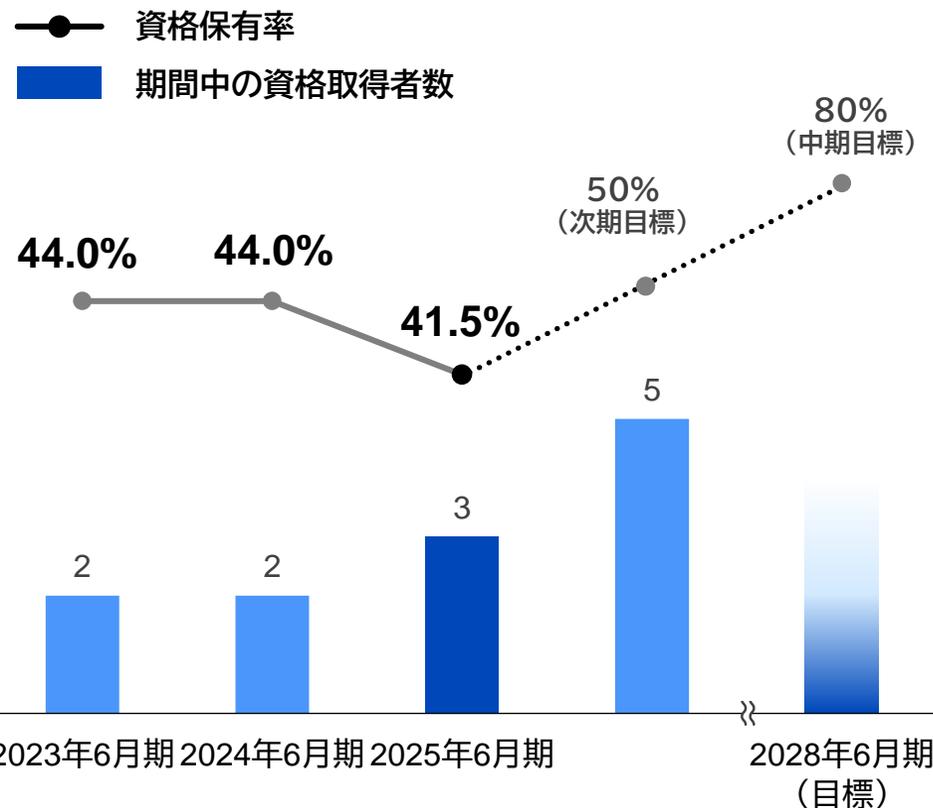
もしもの時もつながりやすい
コールセンター



- 一次窓口となるコールセンターの品質維持
- トラブル未然防止による入電数減

第二種電気工事士の資格保有率の推移※

※ メンテナンススタッフに占める有資格者の割合



設備投資計画

本中計で創出するキャッシュを、事業成長を支える設備投資に重点的に配分

中計期間
創出キャッシュ

内部留保

成長のための
設備投資

IT投資

方針

主力のコインパーキング事業の更なる拡大に必要な設備投資・サービス開発を中心に資金を振りむける

項目	キャッシュ配分
フラップレス駐車場・キャッシュレス決済機	約 75%
老朽設備のリフレッシュ	約 15%
新機器開発・研究	約 5%
SmooPAの拡販・新機能テスト	約 5%

方針

内部統制の強化と業務効率化を実現するシステムやITツールを導入する

主な取組

- ・証憑類のペーパーレス・データ化に向けたシステムの整備、最適化
- ・ITを活用した各種リスクへの対応 ※災害リスク、不正および犯罪リスク、法令違反リスク等
- ・既存システム改修

サステナビリティ推進

働きやすい職場環境の実現や、本社のある福井への貢献を継続。今後も事業活動を通じた地方創生・社会への貢献を目指す

子育てサポート企業 認定



- ・「次世代育成 支援対策推進法」に基づき、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備に取り組んでいる事業主として厚生労働大臣より認定。
- ・育児と仕事の両立に取り組む社員を支援

当期の
主な実績

育児休暇の取得 2名(いずれも男性)
休暇からの職場復帰 1名

地域産業の活性化



- ・福井で活躍している作家の工芸作品を扱う店舗。地域産業活性化や伝統文化承継を図る

個展形式の販売イベント 15回開催
参加いただいた作家 36名

04

2026年6月期 業績及び配当予想

業績予想

売上高は、直営駐車場・駐輪場の開設を進める一方、紙幣識別機等の交換需要が一巡するなど減収要因もあり微増を予想。
営業利益以下は、人件費や売上拡大に向けた広告宣伝費・研究開発費の増加等によって減少予想

(百万円)

	2025年6月期 実績		2026年6月期 予想		増減率(増減額)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	3,902	7,876	3,999	7,904	+2.5% (+96)	+0.4% (+27)
営業利益	292	426	249	396	△14.8% (△43)	△7.0% (△29)
経常利益	289	416	240	375	△17.1% (△49)	△9.8% (△40)
親会社株主に帰属 する当期純利益	184	247	143	227	△22.3% (△41)	△7.8% (△19)

配当予想

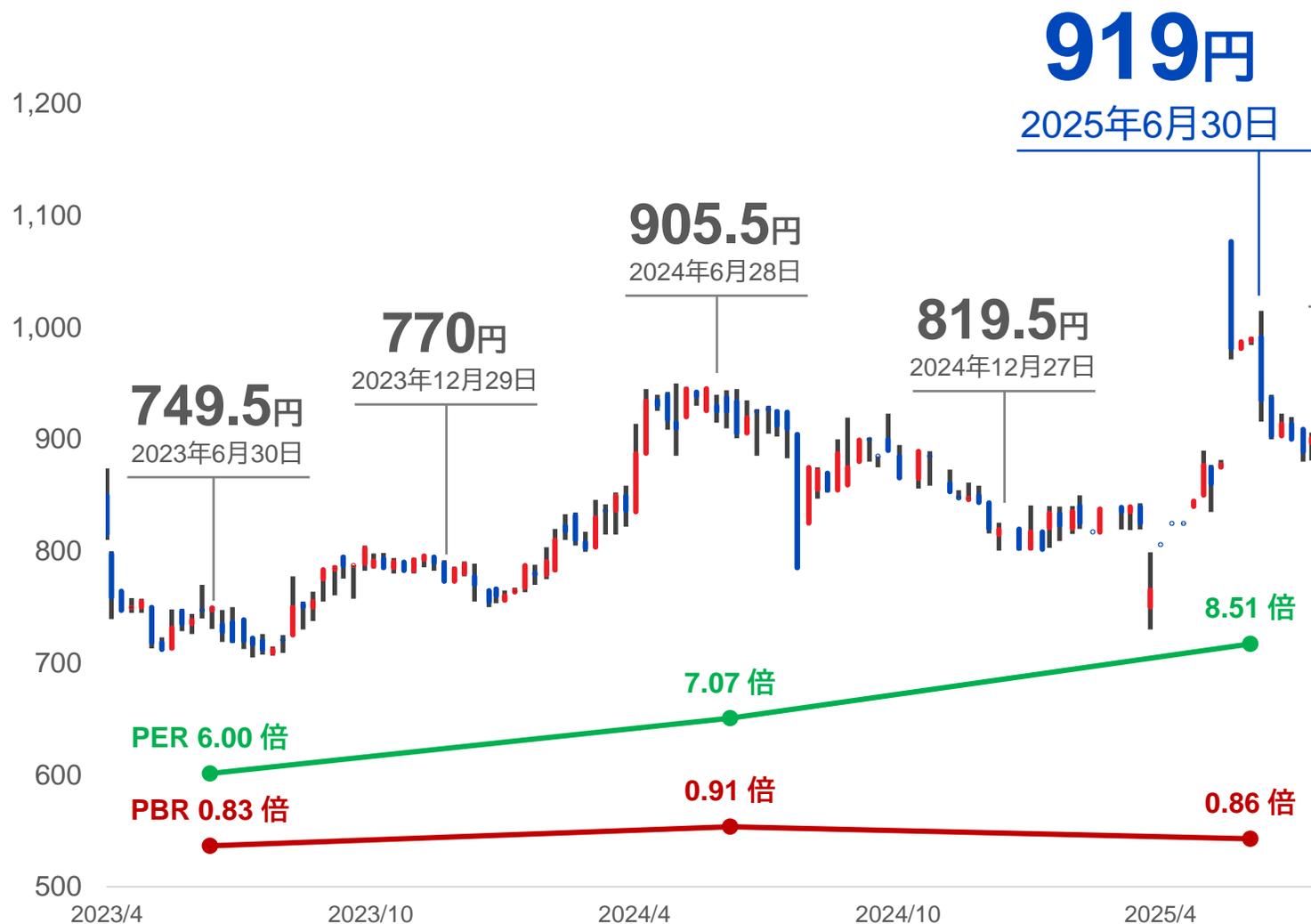
設備投資と財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を継続して実施

	2024年6月期	2025年6月期	2026年6月期 予想
1株当たり配当金(円)	64.0※	64.0※	32.0
中間配当金	24.0※	24.0※	12.0
期末配当金	40.0※	40.0※	20.0
配当金総額(百万円)	73	73	-
配当性向	25.0%	29.7%	32.2%

※ 2024年6月期及び2025年6月期の配当金は、2025年7月1日付の株式分割(普通株式1株につき2株の割合で分割)実施前の実際の配当額を記載しています

參考資料

■ 株価チャート(週足)



■ PER - 株価収益率 -

8.51倍

EPS - 1株当たり当期純利益 -
107.89円

■ PBR - 株価純資産倍率 -

0.86倍

BPS - 1株当たり純資産 -
1,071.71円

(各指標は2025年6月期末時点のもの)

※ 2025年7月1日付の株式分割(普通株式1株につき2株の割合で分割)以前の株価は、比較のための調整を行った値を表示しています



免責事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しています。なお、本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。